



## はじめに

この度は第66回洛星文化祭ロボット研究部・同好会の合同展示にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年の文化祭の展示テーマは「ハードウェアから見るロボット」です。簡単に説明するとロボットにはハードウェアとソフトウェアが存在します。ハードウェアは機体や部品で、ソフトウェアはプログラミングです。人で例えると機体は身体で、プログラミングは思想や意識などの事です。人が動くことができるのは体に神経が通っており、人に意識があるからです。同じように機体も機体の中にプログラムを書くことで機体はようやく動くことができます。

今回の展示では、機体を作るうえでの部品となるモーターや回転数を測定してデジタル信号を出力するロータリーエンコーダー、色を判別するために使われるカラーセンサー、対象物との距離や形を計測する超音波センサーなどをパネルで展示します。

またロボットの実物を展示し、皆様がロボットについてもっと関心を持っていただけるようになっていきます。

それでは洛星ロボット研究部・同好会の展示をごゆっくりお楽しみください。